

# 主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本 事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局	
	17072	中学校給食実施事業	課名	教育総務課 施設・保健給食G	
	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実	財務 科目	会計	01:一般会計
	基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長		款	10:教育費
	施策の方向	02:学びの環境の充実		項	03:中学校費
	戦略プロジェクト	-		目	01:学校管理費
事業予定期間	H 20 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等			

目的 概要	対象	亀山中学校及び中部中学校の生徒
	目的	家庭弁当の持参とデリバリー給食の選択ができる方式を通して、生徒が自らの昼食に関心を示し、食への関わりを持つ機会を与えるとともに、心身の成長が著しい中学生に対し、栄養バランスの考えられた昼食を提供する。
概要		亀山中と中部中における生徒の昼食を、家庭弁当の持参と給食の調理・予約注文・集金業務等を外部委託するデリバリー給食との選択性とし、各家庭のニーズや生徒の嗜好・栄養摂取を考慮した昼食の提供を実施する。また、中学校における給食のあり方に関する検討を進める。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	年度計画	デリバリー方式による給食実施 ・年間実施回数 185回  給食のあり方に関する検討	デリバリー方式による給食実施 ・年間実施回数 185回  給食のあり方に関する検討	デリバリー方式による給食実施 ・年間実施回数 185回  給食のあり方に関する検討	
	年度実績	○デリバリー方式による給食実施 ・年間実施回数 162回 ○給食の在り方に関する検討 ・生徒対象のアンケート調査の実施			
事業の計画・実績	計画額	事業費	44,400千円	44,800千円	44,800千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	44,400千円	44,800千円	44,800千円	
	予算額	事業費	44,305千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	44,305千円	0千円	0千円	
	決算額	事業費	38,131千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
地方債					
その他					
一般財源	38,131千円	0千円	0千円		
人件費	総人件費	5,494千円	0千円	0千円	
	一般職員	5,494千円	0千円	0千円	
	所要人員	0.70			
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト( + )		43,625千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	デリバリー給食の実施率	計画値	100	100	100	
		年間実施回数/年間必要回数	活動	実績値	100		
			単位		%	%	%
	名称	生徒のデリバリー給食満足度	計画値	70	70	70	
		アンケートにおける肯定的回答の割合	成果	実績値	82		
			単位		%	%	%
	名称	保護者の試食会でのデリバリー給食満足度	計画値	90	90	90	
		アンケートにおける肯定的回答の割合	成果	実績値	100		
			単位		%	%	%

事業の改善	前評価	<p>【前評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>リクエスト給食の回数を増加したり、小学校の人気メニューを取り入れたりと、異なるメニュー改善を行う。中学校給食の在り方について、今後の方向性を定めるために、生徒に対しアンケート調査を実施する。</p>
	改善行動	<p>【前評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>委託業者の管理栄養士と献立内容の打ち合わせを綿密に実施し、小学校の給食のメニューを取り入れるなど献立の工夫に取組んだ。デリバリー給食の実施検証及び今後の運営の参考とするためアンケート調査を実施した。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>委託業者の管理栄養士と献立内容の打ち合わせを綿密に実施し、小学校の給食のメニューを取り入れた。また、アンケート結果をもとにメニューの改善を行うなど、献立の工夫に取組んだ。さらに、デリバリー給食の実施検証及び今後の運営の参考とするため、亀山中、中部中の生徒を対象にアンケート調査を実施し、過去3年間の経年比較を行った。</p>	<p>A</p> <p>計画どおり実施できた</p>
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>生徒へのアンケート調査結果から、亀山市のデリバリー給食の特色である、メニューの選択、栄養バランス、適温給食等の面で高い評価を得ることができている。また、現在の家庭弁当とデリバリー給食の選択制に関する設問において、「満足している」、「どちらかと言えば満足している」と回答をした生徒は89.6%であり、生徒が現在の選択制について肯定的に捉えているということがわかった。</p>	<p>A</p> <p>十分な成果を得た</p>

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>生徒のデリバリー給食に関する満足度向上のため、継続的なメニュー改善が必要である。中学校給食の在り方について、一定の結論を導き出すため、継続して検討を進める必要がある。</p>	<p>今後の方向性</p> <p> <input type="checkbox"/> 拡大  <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持  <input type="checkbox"/> 縮小  <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> その他         </p> <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>生徒への定期的なアンケート調査や委託業者とのメニュー改善に関する打ち合わせを継続する。中学校給食の完全実施に向けた経費面などの検討や、保護者へのアンケート調査実施など、多面的な検討を行う。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>生徒の食に関する関心を深めるとともに、デリバリー給食の内容の改善を図ることが期待できる。中学校給食の在り方について、検討を進め、今後の方向性を定めることができる。</p>	
対応時期		令和2年度	

【1次評価者】	教育委員会事務局 教育総務課 施設・保健給食グループリーダー 渡邊 尚也
【最終評価者】	教育委員会事務局 教育総務課長 大泉 明彦

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A		
	成果	A	B	A		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		44,305 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	44,305 千円
	令和2年度への繰越額	千円